chojiai.jp

まさおじいちゃん、今日はどうしても、あなたに向かってお礼を申し上げたくて、この場に立ちました。

訃報に接したあの日、机の引き出しから、かつて一緒に作った鉱石ラジオの回路図を取り出しました。鉛筆の薄い線の向こうに、深夜の雑音を挟みながら小さな放送を拾えた瞬間の、あの二人の歓声がよみがえりました。胸がつまって、しばらくスイッチ一つ入れられませんでした。けれど図面を眺めるうちに、じいちゃんの声が聞こえてくる気がしたのです。「落ち着け。順に確かめれば、必ずつながる」と。

新潟県長岡に生まれ、電機メーカーのエンジニアとして三十年以上、モーターの開発と品質の改善に心を注いだ人でした。地方工場の立ち上げに奔走した若い日の写真には、作業着の胸ポケットに定規とペン、そして少し誇らしげな笑顔。定年のあとも歩みを緩めることなく、地域の子どもたちに科学の不思議を伝える教室を開き、目を輝かせる小さな手に、回す楽しさ、組むおもしろさ、そして「うまくいかない時が一番学べる」ということを、静かに教えてくれました。

家では、将棋盤の前が私たちの教室でした。小学生の私が焦って早指しをすると、じいちゃんは盤から目を離さずに、ふっと口元だけで笑って言いました。「一手待つ勇気が、次の好手を呼ぶ」。終盤で詰みに気づけたときの「そう、それだ」の一言は、どんな賞状よりもうれしいご褒美でした。工作では、ネジ穴の位置を一ミリ狂わせただけで、じいちゃんは静かに首を振り、「道具のせいにしない。図面に戻ろう」と、最初の紙に帰らせました。厳しさの奥に、失敗を守ってくれる大きな優しさがありました。じいちゃんがよく口にした「準備こそ最大の優しさ」という言葉は、私にとって、今も一番頼りになるお守りです。

時間に厳格で、約束は秒単位で守る人でした。早朝の待ち合わせに、じいちゃんは必ず一分前に現れ、腕時計を軽くたたいて合図しました。それでも、ただ堅い人ではありません。鉄道写真の撮影に付き添った帰り道、望遠レンズを抱えたまま、私の歩幅に合わせてわざと小走りになってみせる。盆栽の五葉松を眺めながら、「この枝は負けん気が強い」と言って笑わせる。少年野球のコーチでは、大きな声で叱るのではなく、グラウンドの片隅

chomar.jp であなただけの弔辞を作成

でキャッチボールをしながら、「君のいいところはここだ」と短く伝える。厳しさとユーモアが、いつも肩を並べていました。

私が進路に迷うたびに、じいちゃんは紙と鉛筆を出し、「回路図みたいに考えてごらん」と言いました。目的地、電源、抵抗、ショートしそうな箇所。線で結び、危ないところには赤で×。最後に、太い線で一本の道が引かれる。その瞬間に、決める勇気を一緒に渡してくれる人でした。背中を押すときの合図はいつも同じ。「大丈夫、やってみろ」。そして、必ず力強い握手。あの温度と圧は、いまも手のひらに残っています。

じいちゃんは、家族にも、仕事にも、地域にも、同じ誠実さで向き合いました。結婚五十五年、恵子ばあちゃんと並んで歩いた姿は、私たち孫にとっての規範でした。長女の由美さん、次男の浩二さん、そして五人の孫たち。誰かの相談には、必ず相手の時間に間に合うように準備を整え、余計な不安を持たせないよう先回りする。あれも、じいちゃん流の「最大の優しさ」だったのだと思います。

先日、遺品の手帳を開かせていただきました。丁寧な字で、家族それぞれへの励ましの言葉と、「次に挑戦してほしいこと」が、箇条書きではなく、その人の歩幅に合わせた速度で書かれていました。読みながら、胸が熱くなりました。将棋の指南も、工作の手ほどきも、あの手帳の言葉も、すべては「自分で立てるように」という願いに通じていたのだと、静かに悟りました。

まさおじいちゃん、私たちは、あなたのいない寂しさを、これから幾度となく覚えるでしょう。朝のウォーキングの時間、駅のホームで列車を待つ時間、盆栽に霧吹きをする時間。ふとした瞬間に、あの笑い声と、整った足音が恋しくなるはずです。けれど、そのたびに、あなたならどう図面を引くだろう、と考えてみます。焦らず、一手待ち、準備を尽くし、そして「大丈夫、やってみろ」と自分に言ってみます。

ご家族の皆さま、ばあちゃん、由美さん、浩二さん。どうかご無理をなさらず、お身体を大切にお過ごしください。じいちゃんは、手帳に残した言葉のとおり、皆の歩みを信じて、見守っていると思います。私たち孫も、それぞれの場所で、誠実に時間を守り、道具に感謝し、仲間と手を携え、恥ずかしくない背中で、この名を受け継いでまいります。

まさおじいちゃん。長い年月、本当にありがとうございました。あの鉱石ラジオで拾った、小さな放送の明かりは、私のなかで今も点り続けています。いただいた握手の力で、こ

れからも前に進みます。 chojiai.jp であなただけの弔辞を作成

どうか、ゆっくりお休みください。あなたの教えてくれた準備と優しさを、私たちは必ず次の世代へつないでいきます。ありがとうございました。

この弔辞は chojiai.jp
で作成されました。いくつかの質問に答えて、今すぐあなただけの弔辞を作成しましょうchojiai.jp

chojiai.jp であなただけの弔辞を作成